西陵中学校だより

平成２９年３月２日（木）
第２１号

学校 HP アドレス　http://www.yokkaichi.ed.jp/seiryo

第４１回　卒業証書授与式　3月7日（火）9:30～

６８名のみなさんが、卒業します！

常に前へ未来へ、希望に向かって！

３年生のみなさん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます！みなさんの西陵中での生活は、心身共に大きく成長した３年間であったと思います。抱えきれないほどの思い出と一緒に、これまで積み上げてきた力を基に、新しいステージで大いに活躍してほしいと思います。卒業するみなさんは、中学校での最高学年として１．２年生のときより更に意欲的で前向きに、授業や部活動、学校生活に打ち込みました。また、修学旅行や体育大会等の取り組みなどを通して、集団におけるルールの必要性や友達との絆の大切さを培ってきました。文化祭の学級での取り組みは、仲間の大切さやすばらしさを体験し、やり遂げた後の心地よさや充実感を味わうことができました。とりわけ合唱発表は、在校生ばかりでなく先生方や参加された保護者の方々に感動を与え、３年生のパワーを感じさせることができました。その後、将来に向けての進路を考える機会が増えるにつれて、授業にも真剣さが増し、集中力もついてきたように感じます。この３年間は、外見ばかりではなく知識も知恵も、そして人としての考え方も入学した頃とは別人のように成長しました。後に続く在校生は、３年生のすばらしいところを受け継ぎ、先輩に感謝し心から「ありがとう」の気持ちで卒業を見送って欲しいと思います。そして、在校生のみなさんが様々な行事や活動に全力で取り組み、これまで以上の西陵中学校を作り上げてほしいと思います。

社会見学に行ってきました！

２年生は２月８日（水）に名古屋方面へ社会見学に行ってきました。この見学は、３年生の修学旅行を見据え、地下鉄を利用することで社会性、公共性を養うという目的もありました。これまで道徳などで学んできた学習を実践する機会でもありました。自分がよいと思っていることを、実際に表現するのは難しいものがあります。学校の中で羽目をはずしてもすまされることでも、社会の中ではそうはいきません。自分の行動が知らないうちに相手に迷惑をかけていることもあります。まわりの様子をうかがうゆとりを持って行動していきましょう。

3月のおもな行事予定

３月	７日（火）	卒業式	２１日（火）	ＰＴＡ新旧本部役員会
	９日（木）	県立後期選抜	２１日（火）	新入生予備登校日
	９日（木）	ようこそ先輩	２４日（金）	中学生のメッセージ校内発表
			２４日（金）	修了式・離任式

学校づくり協力者会議

２月１０日（金）学校公開日がありました。生徒たちは落ち着いた雰囲気の中で学校生活を送っています。来年度も、各学期を基準に３回の学校公開日を予定していますので、ご都合をつけてお子様の学校での活動をご覧いただき、家庭での話題にしていただき、学校にもご意見を聞かせていただくと幸いです。

第３回学校づくり協力者会議が開催されました。委員の皆様に本年度の学校関係者評価をしていただき、下記のような評価をいただきました。今後、この結果をもとに学校づくりの改善に取り組んでまいります。

委員の皆様ありがとうございました。

評価項目	評価のまとめ
確かな学力の向上並びに主体的に生きる力の育成に向け、学校全体として取組が進み、成果をあげているか。	「わかる授業」について、９割の生徒が肯定的な評価をしている。今年度より基礎学力の育成のために、１．２年生は短学活の時間帯で学力の向上を図ってきた。これらの取り組みにより、生徒が意欲的に学習に取り組む姿や班内で活発に活動する姿が見られる。しかし、１割は分かりにくいと感じている生徒がおり、生徒のつまづきを解消する授業の工夫を考えてほしい。学校全体で共通理解を図り、授業規律の確立を徹底させ、わかりやすい（わかる）授業づくりに取り組むとともに、家庭学習の充実をめざして、宿題の工夫と、家庭との連携を図っていきたい。 また、「適切な評価」の項目で、保護者で「分からない」と評価されているのが気になる。一つひとつの教育活動に対し、評価の課程を具体的な説明責任が果たし、生徒が一層意欲的に取り組めるような授業の工夫と評価のあり方についてさらなる研修を深める必要がある。
仲間づくりや道徳・人権教育の充実を図ることで豊かな人間性の育成をめざし、取組を進めているか。	生徒からの肯定的な評価は昨年度の結果と同様、約９割となっている。保護者からの肯定的な評価は、約８割と高くなっている。しかし、嫌がらせ等の理由により、仲間づくり及び、学校生活が楽しくないと思う生徒も１割いるという現実を理解し、「いじめ」に発展しないように生徒と接してほしい。 「道徳・人権教育の充実」の項目では、生徒からは９．５割、保護者からは８．６割の肯定的な評価をいただいた。ネットモラルなど生徒の身近な教材を活用し、日常の指導や取り組みを今後も継続させてほしい。 道徳の時間はもとよりすべての領域、教育活動において人権教育の充実を図り、「いじめ」のない、仲間づくりに重点を置いた指導を心がけ、生徒や保護者にそのことが実感できるよう、対応してほしい。
安全な環境の中、楽しく充実した学校生活が送れるよう努力をしているか。	９割以上の生徒・保護者が安全な環境で充実した学校生活を送っていると感じているが、登下校時の交通マナーやヘルメットをかぶらないなど自分から危険な状態にしているように感じる。生徒への指導を徹底させるとともに、罰則を設けていく必要もある。 自然災害の対応については、早期に安全な対策がなされている。今後、冬場の安全な対応がより一層まかなえるよう継続してほしい。降雪時の除雪など、通学路の安全確保について地域と協力して検討すべきである。
生徒・家庭・地域との信頼関係の確立に向けた努力をしているか。	「保護者・地域との連携」で、保護者の約９割、生徒の９割が肯定的な評価をしていただいているが、今後さらに地域の方々との連携を図っていく必要がある。信頼関係は地域の方々の理解で確立していく。 「情報の発信・受信」では、生徒・保護者ともに９割以上の肯定的な評価があり、昨年よりも高いポイントになっている。ホームページなどの情報発信が多くなり、地域住民や保護者が、より知る機会が増えたためと考えられる。体験学習や公開授業でも地域とのコミュニケーションが実現できるのでより多くの機会を設けてほしい。